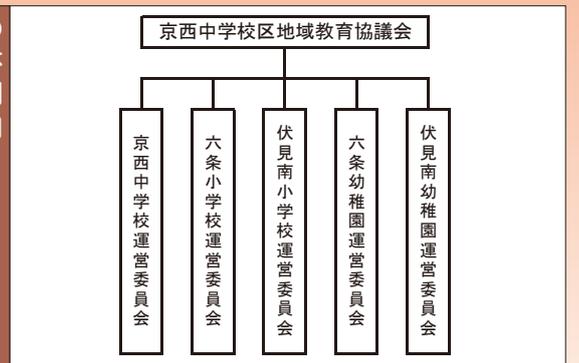


自らのまちに誇りをもち語れる子供をめざし地域・自然を愛する心豊かな子供の育成

奈良県奈良市	● 活動名	● 関係する学校名
	京西中学校区地域教育協議会	奈良市立京西中学校、奈良市立六条小学校、奈良市立伏見南小学校、奈良市立六条幼稚園、奈良市立伏見南幼稚園

開始年度	平成 20 年度	学級数	18 学級	児童・生徒数	539 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 11 人	連携団体・企業等	NPO 法人きららの木、唐招提寺、薬師寺、喜光寺、菅原天満宮
ボランティアの数	登録人数 80 人	属性	PTA 役員、教員、地域住民等		
参考 URL					

● 体制図



● 連絡先 奈良市教育委員会事務局 学校教育課 ☎ 0742-34-5366

● 活動の概要・経緯
 京西中学校区地域教育協議会は、平成 20 年に組織し、10 年目となる。奈良市の南西部に位置しており、古くからの伝統行事を継承している旧家と、ニュータウンが混在する地域である。平成 21 年度は、「京中オープンスクール」と題して、地域人材を活かしたキャリア教育を実施。平成 26 年度からは、校区内の世界遺産を含む史跡散策と清掃活動を通じて、地域・家庭・学校の連携を推進する体制づくりが行われてきた。また、活動を広く地域に認知してもらうための広報紙「京チュン通信」の発行を平成 27 年度より開始し、特筆すべきは校区内に全戸配布していることである。また、六条小学校の図書ボランティアチーム「としょぼん」の活動は、教職員、コーディネーター、司書、ボランティアが協力し合う点において、他校区から注目されている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

協議会の活動内容を地域住民に認知してもらうための広報紙「京チュン通信」を年 2～3 回発行し、自治会の協力を得て、校区内全戸（平成 28 年度：7,800 戸）に配布をしている。また、「史跡散策＆清掃作業」では、校区内の史跡を散策するだけでなく、清掃作業や、ご当地の方による講和を織り交ぜるなど、毎年趣向をこらしたプログラムで活動している。さらに、学校園支援活動として実施している「京中オープンスクール」は、地域人材の発掘をコーディネーターが精力的に担っている。六条小学校の図書ボランティアチーム「としょぼん」は、学校の休み時間等を利用して図書室を運営。子供たちが本と触れ合う機会を増やし、さらに地域のまつりにも参画して広報に努めている。

【実施にあたっての工夫】

協議会の活動を広く認知させるために、オリジナルマスコットキャラクター「京チュン（稲の妖精）」を平成 25 年度に作成し、活動の PR に活用。特に、キャラクターを前面に登場させた広報紙「京チュン通信」は、地域人材を上手く活用し、創意工夫されたオリジナルのデザインで、活動を楽しく PR している。史跡を掲載した校区マップをもとに実施する「史跡散策＆清掃作業」では、コーディネーターが積極的に働きかけ、その趣旨を理解のうえ協力を得ている。「京中オープンスクール」は、赤膚焼の窯元、唐招提寺、卒業生美容師、地元の銀行の支店長、校区の高校の図書館司書、福祉施設の方、音楽家など多様な分野からゲストティーチャーを招聘するなど、キャリア教育の充実を目指している。

● 事業を実施しての効果・成果

広報紙の校区全戸配布により、協議会の活動に対する理解が深まってきた。昨年度は、協議会の活動が NHK 奈良放送局に取り上げられ、総合コーディネーターが出演した。さらに第 5 回「史跡散策＆清掃作業」では 165 名の参加者を得るなど、地域に根差した活動が広がりを見せている。その他、地域住民は活動に参加することにより、能力発揮の場となっている。また、図書ボランティアチームの精力的な活動により、子供たちの読書意欲が増しており、朝読においても、地域と子供たちの関わりが増え、相互に挨拶ができるようになった。

● その他

- NPO 法人きららの木（体験学習福祉施設）・唐招提寺、薬師寺、喜光寺、菅原天満宮（地域遺産学習）
- 図書の読み聞かせ・福祉体験学習



「広報紙京チュン通信」



「史跡散策＆清掃作業」

ポイント

総合コーディネーターと各校のコーディネーターが連携し、史跡散策と清掃活動等、地域の特色を活かした活動が展開されています。そこでの「京チュン通信」やマスコットキャラクターの広報力は欠かせませんね。